

農林水産業関連

1 さとうきび収穫後に約400個のハカマロールを生産調製

さとうきび収穫後のハカマを活用したハカマロール生産調製数は、肉用牛農家4人でロールペール約400個となった（農業普及課調べ）。

また、給与利用者20人のうち半数以上が、嗜好性は他の粗飼料と比べ良好、または変わらないと評価しており、冬季の粗飼料不足期の対策として重要視されつつある。

農業普及課では引き続き関係機関と連携し、品質向上等の課題解決を図ると共に、ハカマロールが冬季の粗飼料として定着するよう、この取組を積極的に支援する。

